



医療安全通信 第48号

【薬局部医療安全委員会】

医療安全推進のため、Pharma Bridgeを通じて、医療安全上の周知すべき情報やタイムリーな話題を随時発信いたします。業務手順書の書換えや日常業務にお役立てください。

「温感タイプ」のロキソプロフェンNaテープについて

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業の「共有すべき事例」2018年 No. 1には『一般名の類似性による誤調剤』の事例が掲載されています。

http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/pdf/sharing_case_2018_01.pdf

◆ 事例の内容

【般】ロキソプロフェンNaテープ100mg（10×14cm温感）と記載された処方箋を受け付けた。温感のロキソプロフェンナトリウムテープ100mg「タイホウ」を調剤するところ、【般】ロキソプロフェンNaテープ100mg（10×14cm非温）と読み換え、ロキソプロフェンナトリウムテープ100mg「ケミファ」を調剤した。

◆ 背景・要因

処方箋の見間違い。

◆ 薬局が考えた改善策

思い込みをなくし、確認は二度以上行うことを徹底する。

◆ 事例のポイント

- 一般名処方増加とともに、一般名の類似性による誤調剤が数多く報告されている。
- 特に外用剤には、基剤が違う同成分の薬剤があり、正しい薬剤を調剤するには、一般名の末尾までしっかりと読み取る必要がある。
- 患者に薬剤を見せることで、薬剤の取り違いなどの発見につながるが多いため、交付時に患者と共に確認を行うことが望ましい。
- 貼付剤の一般名には、語尾に「温感」または「非温」と記載されているものがあり、その取り違いの事例が多く報告されている。薬剤の取り違いを防ぐためには、例えば、患者に「温かいタイプ」であることを伝え、確認することも有効な手段である。

【原文のまま抜粋】

ロキソニンテープの後発品であるロキソプロフェンNaテープには、先発品のロキソニンテープと同じ「非温感タイプ」の他に「温感タイプ」もあります。下表に示すように、タイプ指定の一般名処方、別のタイプの製品の調剤ができません。また、商品名で処方箋に記載された場合（変更不可を除く）や、タイプ指定のない一般名処方の場合は、制度上、どちらのタイプの製品も調剤が可能ですが、炎症が急性か慢性か等の症状や患者の希望の聞き取り、あるいは、疑義照会による医師の処方意図の確認を行った上での製品選択が必要です。

処方箋の記載	調剤する製品
「非温感」と指定のある一般名	「非温感タイプ」（「温感タイプ」は調剤不可）
「温感」と指定のある一般名	「温感タイプ」（「非温感タイプ」は調剤不可）
「非温感」「温感」の指定がない一般名	「非温感タイプ」「温感タイプ」どちらも可 （“変更不可”除く）
先発品のロキソニンテープ	※ 処方箋に記載された製品と別のタイプを調剤する場合は、医師の処方意図、患者の希望や症状等の確認が必要
「非温感タイプ」の後発品の銘柄指定	
「温感タイプ」の後発品の銘柄指定	

なお、現在、薬価収載されている「温感タイプ」は、2社4製品です。

★「温感タイプ」のロキソプロフェンNaテープ

ロキソプロフェンナトリウムテープ50mg/100mg「タイホウ」	大鵬薬品工業
ロキソプロフェンNaテープ50mg/100mg「三友」	ラクール薬品販売

《参考文献》 ジェネリック医薬品リスト（じほう）

《情報提供》 大鵬薬品工業株式会社 医薬品情報課、ラクール薬品販売株式会社 DI室

旭川薬剤師会公式サイトに医療安全通信のバックナンバーを掲載しています。

